令和7年第3回臨時会

江東区教育委員会会議録

令和7年5月30日（金）

江東区教育委員会

令和7年第3回江東区教育委員会臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和7年5月30日（金）午後1時30分
- 2 閉会年月日 令和7年5月30日（金）午後1時49分
- 3 開会場所 江東区役所
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、安部敏啓（教育長職務代理者）、鈴木清人、浅野美智子、大久保善子
- 5 出席職員 青柳教育委員会事務局次長、西尾教育委員会事務局参事 学校施設課長事務取扱（整備担当課長兼務）、梅村教育委員会事務局参事 深川図書館長事務取扱、瀧澤庶務課長、西野学務課長、金指指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、大田地域教育課長、吉木江東図書館長

6 議題

- 日程第1 議案第27号 令和7年度江東区一般会計補正予算（第1号）に関する意見聴取
日程第2 議案第28号 審査請求に対する裁決について

7 報告事項

- （1）「江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」の一部修正について

8 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和7年第3回江東区教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の会議録署名委員を御指名いたします。大久保委員、安部委員にお願いいたします。

それでは、審議に入ります。

日程第1 議案第27号 令和7年度江東区一般会計補正予算（第1号）に関する意見聴取を議題といたします。

本案について事務局より説明願います。

次長。

青柳教育委員会事務局次長 議案第27号 令和7年度江東区一般会計補正予算（第1号）に関する意見聴取。

上記の議案を提出する。

令和7年5月30日。

提出者、江東区教育委員会教育長、本多健一郎。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、江東区長より意見を求められたため、本案を提出します。

それでは、補正予算（第1号）について御説明いたします。資料1-1を御覧願います。よろしいでしょうか。

1枚お進みいただきまして、1ページの令和7年度江東区一般会計補正予算（第1号）総括を御覧願います。今回の本区全体の補正額は31億6,600万円の増額で、補正前の額に対して1.14%の伸びとなっております。歳入増の主なものは、第15款都支出金41億2,203万1,000円であります。歳出は第3款民生費が最多で27億8,400万円余、続いて第2款の総務費、そして第6款の土木費の順となっております。

次に、教育委員会事務局に係る予算の補正について御説明いたします。2ページの（1）歳入歳出予算総括を御覧願います。歳入は809万5,000円の増額、歳出は1,772万6,000円の増額となっております。

次に、歳入について御説明いたします。3ページの（2）歳入事項別明細書を御覧願います。第13款使用料及び手数料、第1項使用料、第6目教育使用料の69万3,000円の減額は、この後歳出の項目で御説明します、幼稚園等における未就学児の定期的な預かり事業における利用料無償化に伴う減額でございます。

第15款都支出金、第2項都補助金、第6目教育費補助金は、878万8,000円の増額でございます。内訳といたしましては、右概要欄に記載の3事業となっており、補助率、金額は記載のとおりでございます。内容につきましては、この後の歳出事業で御説明いたします。

4ページの（3）歳出事項別明細書を御覧願います。第7款教育費、第1項教育総務費、第2目事務局費の右説明欄事業1、私立幼稚園等保護者負担軽減事業は、幼稚園で実施する預かり保育の利用料補助について、対象世帯を第1子の課税世帯まで拡大するものでございます。

同じく事務局費の朝の児童の居場所づくり事業は、児童が小学校の始業前に安心して過ごせる居場所を学校内に確保し、保護者の負担軽減にもつなげるため、区立小学校3校でモデル事業を実施するものでございます。

第3目教育指導費の右説明欄事業2、豊かな体験活動事業は、東京都が実施する笑顔と学びの体験活動プロジェクトの「子供企画型」を、区立小中学校3校で実施するものでございます。

5ページに移りまして、第5項幼稚園費、第1目幼稚園管理費の右説明欄事業2、幼稚園等における未就学児の定期的な預かり事業は、幼稚

園等における未就学児の定期的な預かり事業（あずかーる）の第1子の利用料を無償化するものでございます。

同じく幼稚園管理費の私立幼稚園等運営費扶助事業は、物価高騰による幼稚園等の負担軽減のため、運営費の補助を行うものでございます。

なお、歳出に関する補正予算の概要につきましては、資料1-2にまとめておりますので、後ほど御確認いただければと存じます。

以上で補正予算の説明を終わります。

本多教育長 それでは、本件について質疑願います。
安部委員。

安部委員 御説明ありがとうございました。特に想定されていたものから大きく外れたものというか、想定していなかったものとしては、こどもの預かりぐらいな理解で合っていますか。

本多教育長 次長。

青柳教育委員会事務局次長 そうですね、そのくらいだと思っております。

本多教育長 ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、お諮りいたします。
日程第1につきまして、原案のとおり決定することに御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、これを決定いたします。
次に、日程第2については案件の性質上、また、報告事項1については区議会及び関係諸機関との審議状況との関係があるため、それぞれ秘密会といたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 ただいま全員一致の賛成を得ましたので、江東区教育委員会会議規則第12条第1項の規定により、日程第2及び報告事項1は秘密会といたします。

それでは、日程第2 議案第28号 審査請求に対する裁決についてを議題といたします。

本案について事務局より説明願います。

次長。

青柳教育委員会事務局次長 議案第28号 審査請求に対する裁決について。
上記の議案を提出する。
令和7年5月30日。

提出者、江東区教育委員会教育長、本多健一朗。

行政不服審査法第44条の規定に基づき、裁決をする必要があるため、本案を提出します。

本多教育長 庶務課長。

瀧澤庶務課長 それでは、審査請求に対する裁決について御説明をいたします。議案第28号、別紙1を御参照お願いいたします。

本件は、令和4年12月28日付で提起された江東区個人情報保護条例に基づく保有個人情報一部開示決定処分に対する審査請求に対し、主文に記載のとおり、本件審査請求を棄却する旨、裁決するものであります。

以下、順に御説明をいたします。

初めに、第1、事案の概要でございますが、こちらは本件請求の経過でございます。

1といたしまして、開示請求人は、令和4年8月3日に個人情報開示請求を行い、2、処分庁は、同年9月30日に一部開示決定処分を行いました。3といたしまして、この処分に対し、同年12月28日に審査請求人からの審査請求書を受取り、審査を開始いたしました。

飛びまして、2ページをお願いいたします。2ページ中段、項番11のとおり、令和6年6月14日に審理手続を終結し、12、8月23日に本件審査請求について個人情報保護審議会に諮問を行い、翌年、令和7年2月7日に審議会から答申を受けたものでございます。

次に、2ページ中段、第2、審理関係人の主張の要旨でございます。

初めに、1、審査請求人の主張ですが、こちらは(1)から(3)まで、合計3点にわたる主張でございます。

次に、3ページ中ほど、2、処分庁の主張でございます。こちらは、処分庁、すなわち個人情報の一部開示決定処分を行った教育委員会等の主張が、以下8ページまで記載されておりますが、最終的に8ページをお願いいたします。8ページ、(3)総括にございまして、本件処分は、条例に基づき適正に行われたものであり、審査請求人の主張には理由がなく、本件審査請求は棄却されるべきであると主張してございます。

これらの主張に対し、審査庁の判断といたしましては、次の9ページ、第3、理由に記載のとおり、本件審査請求に対する審査庁の判断が個人情報保護審議会の答申と同様であることを理由とした上で、第4、結論として、主文のとおり、すなわち冒頭に申し上げました、本件審査請求を棄却するものとしております。

なお、個人情報保護審議会の答申書は、議案第28号、別紙2として本件資料を掲載してございますので、後ほど御参照いただければと存じ

ます。

簡単ですが、説明は以上です。よろしく御審議の上、御決定いただきますようお願いいたします。

本多教育長 本件について質疑願います。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。

日程第2につきまして、原案のとおり決定することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、これを決定いたします。

これより、報告事項に入ります。

報告事項1 「江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」の一部修正についてを事務局より説明願います。

学務課長。

西野学務課長 資料2-1を御覧ください。

まず、1、一部修正の背景についてですが、昨年8月の基本方針策定後の幼稚園類似施設の廃園、特別な支援を必要とする園児割合の増加、3歳児の申込み数の増加など、区立幼稚園を取り巻く環境の変化があったことから、現行方針の一部修正を行うことといたしました。

次に、2、見直し方針の案ですが、1点目は、園児数推計の対象年齢の見直しを行っております。現行方針では4・5歳児を対象としていましたが、保護者ニーズへの対応として、区立幼稚園において3歳児保育を令和2年度に南陽・豊洲幼稚園の2園で開始してから、令和5年度になでしこ幼稚園を追加し、3園、そして令和7年度につばめ・第五砂町幼稚園を追加して、5園で実施してきた実績や、それらの園における3歳児保育への申込み状況などを踏まえまして、3歳から5歳の園児数推計へと変更いたしました。

2点目は、必要園数の見直しです。園児数推計を変更したことに伴いまして、令和9年度末に必要としていた必要園数を、現行方針の7園から9園に変更いたしました。

3点目は、区立幼稚園の配置における観点の見直しです。必要園数をどのように配置するかにつきましては、様々な観点を総合的に判断し、決定しております。

現行方針におきましては、その一つとして、私立園など近くに受皿があるかという観点で見えていましたが、特別な支援を要するこどもの保護者が区立幼稚園を選択する状況なども勘案しまして、近くに区立幼稚園の受皿があるかという観点も追加することといたしました。そのことで保護者が様々な選択肢を可能な範囲で最大限確保できる園を対象として選定することといたしました。

その結果、現行方針で閉園対象としていた園のうち、平久幼稚園及び元加賀幼稚園の閉園を見送り、3歳児保育を令和8年度より実施することといたしました。

なお、本区の幼児教育などの強化を図るため、区立園は3歳児保育を実施する一方、私立園に対しては更なる支援を進めていく必要があると考えています。

次に、3、今後のスケジュールについてですが、8月の教育委員会で区議会報告を経た最終案をお示しさせていただきます。10月からの園児募集に反映していければと考えております。

今説明いたしました説明内容を反映したものが、資料2-2の素案及び資料2-3の新旧対照表となりますので、後ほど御確認いただければと思います。

説明は以上となります。

本多教育長 本案について質疑願います。よろしいでしょうか。

今、学務課長のほうから説明がございましたけれども、昨年、教育委員会で十分に審議をして決定したことはありませんけれども、先ほど学務課長からあったように、環境要因の変化があり、区民の皆様のために、こういった形で一部修正を行うということでございます。

安部委員。

安部委員 すみません。御説明の中で、ちょっと支援を要するこどもについて触れられていたと思うんですけど、この閉園、廃園とは関係なく、その支援を要するこどもが増えているということに対しての支援といえますか、施策みたいなものを盛り込んではいますか。

本多教育長 学務課長。

西野学務課長 もととの素案の中から特に記載の変更はないんですが、資料2-2の13ページ、そちらのデータで言うと15になるかと思うんですけども、そちらのほうに、特別支援教育専任コーディネーターを設置するというように、特別支援が必要なお子さんについては区立以外にも私立にもいらっしゃいますので、江東区内の特別支援が必要なお子さんに対する支援というのは強化していきたいと考えております。

以上です。

本多教育長 よろしいでしょうか。あと1つ加えるとするならば、特別な支援が必要なお子さんが増えているという状況では、教育委員会としては、学習支援員を増配置することが必要だろうということで、様々対応しているところと、今後そのことについて、状況を見ながら、予算要望していく

とか、そういった形の対応についても考えていくことが必要になってくるのではないかと思っています。

安部委員。

安部委員 すみません。ありがとうございます。

もう1点、外国籍のほうの件なんですけど、先日、新大久保に行くことがありまして、そこで小学校と幼稚園とを併設している学校の前をちょっと通ったんですけど、学校の前に掲示板があって、お知らせ、学校だよりみたいな園だよりがあったんですが、もう同じものが6枚あったんです、言語を変えて。

そこまでやらなきゃいけないのかなと、ちょっとびっくりしちゃったんですけど、そういう対応をしないと、ちゃんと保護者にリーチしないんだなということもちょっと一方で感じたんですが、これは別に幼稚園だけに限った話ではないかもしれないんですけど、ここに今お示しいただいた15ページ目ですと、特別な支援を必要とする園児の中の外国籍の園児数というの、増加傾向にあるということがあって、そういった措置みたいなものは、人の手当ても含めて、やり方みたいなものとかで何か検討していることはありますか。

本多教育長 学務課長。

西野学務課長 まず幼稚園のことにに関して御報告で言いますと、幼稚園についてはポケットクというものを配付させていただいて、お子さんとの交流が取れるような形、また保護者の方とお話ができる形で対応させていただいているところです。

幼稚園以外の部分については、すみません、別途お願いします。

本多教育長 教育支援課長。

木内教育支援課長 人的支援も大切なのですけれども、小学校、中学校については学習の面でのサポートとして、現在かなり音声翻訳の技術が進んでいますので、こういったものも活用しながら、こども同士やこどもと先生をつなぐということもできるかと考えています。

こういったものをうまく活用できれば、幼稚園においても、先ほど委員からお話しいただいたような数か国語のお知らせを翻訳したり、様々な国の保護者とコミュニケーションを取ることも可能になるので、本課だけではなく、いろいろな課と連携を取りながら研究しているところです。

以上です。

本 多 教 育 長 安部委員。

安 部 委 員 ありがとうございます。個人的には、全く話を通じない御家庭の外国の方とは、やはりコミュニケーションを取る必要があるので、一定程度、こちらが折れると言うと変なんですけど、相手方の言語、母国語なりでお話を返して、コミュニケーションを取るということは必要だと思うんですけど、少なくとも今この国において教育を受けている以上は、やはり日本語できちんと対応してもらいたいというのがありますので、その辺はすごく悩ましいところではあるとは思うんですけども、やり過ぎると向こうは、そのままいいと思ってしまわないでいてほしいなと僕は思っているので、御検討いただければと思います。よろしくお願ひします。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本報告を終了いたします。

なお、秘密会の会議録につきましては、本来、教育委員会会議規則で非開示となっておりますが、報告事項1は区議会の審議終了後、公開することといたしたいと存じます。

それでは、以上をもちまして、令和7年第3回江東区教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。